

平成30年度 数学科 授業改善推進プラン

大田区立糀谷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・授業規律をしっかりとさせることで、落ち着いて授業に取り組めた。
- ・基本的な内容を繰り返すことで、基礎学力がついてきた。

(2) 課題

- ・家庭学習の量が足りていないので、家庭学習を促すことと、副教材の選定に力を入れる。
- ・授業に取り組む姿勢で、個人差があるので、ノートを取ることを徹底させることや、説明・解説の工夫などをしていくことが必要である。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	平成30年度結果	平成29年度結果	平成28年度結果
第1学年	4つの観点全てにおいて目標値を下回っている。		
第2学年	4つの観点全てにおいて目標値を上回っている。	4つの観点すべて目標値とほぼ変わらない。 (第1学年時)	
第3学年	4つの観点全てにおいて目標値を下回っている。	技能は目標値を達成し、その他は下回った。 (第2学年時)	全ての項目において、区の平均を下回る結果となった。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
量と測定や数量関係を工夫して計算するところが目標値を大きく下回った。	数量関係を工夫して計算するところが目標値を大きく下回った。	小数・分数の計算や量と測定そして数量関係で目標値を大きく下回った。	平面図形と比例・反比例のところが目標値を大きく下回った。

② 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
目標値をやや上回った。	目標値をやや上回った。	目標値を上回った。	目標値を上回った。

③ 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
目標値を大きく下回る。	目標値を大きく下回る。	目標値をやや下回る。連立方程式に関しては目標値とほぼ同等。	目標値を大きく下回る。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
身近な生活の中で数学の考え方が使われていることを取り上げて、興味を持たせるようにする。	同じ問題解決でも数学の考え方を有効に活用するとすごく便利であることを意識させ、活用するように練習する。	小数と分数の四則演算の達成率が特に低かったので、授業開始の小テストでは多めに取り入れていきます。	これから学習する一次関数や平面図形では小学校の復習を多めに組み込んでから教科書の内容に進むようにする。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
身近な生活の中にある数学の考え方にも触れ、興味を持たせる。また、手を動かしたり、実験したりすることで意欲や感心を高める。	応用問題にも挑戦することで、身に付けた知識・技能を活用する活動を繰り返す。自分の言葉で説明できるような活動を取り入れる。	毎時間小テストを実施したり、課題を提出させたりすることで、計算力の向上を図る。	第1学年までの既習事項につなげながら新しい用語を学ぶ。特に2学期の図形分野では用語が多く出てくるので、知識の定着を図る。

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
身近な数学を取り上げ、話題にする。また、数学そのものの美しさや面白さを実感させるような授業展開をする。	単元の終わりに応用問題を解かせる。身に付けた知識・技能を活用する活動を繰り返す。	毎時間小テストを実施し、繰り返し問題を解かせるようにする。	定義から用語を答えさせるだけでなく、用語の定義を自分の言葉で説明させる活動などを取り入れる。